耐塩害仕様について

- 耐塩害または耐重塩害仕様の機種を採用しても、腐食に対して万全とは言えません。機器の設置や日常のメンテナンスにおいては『据付説明書』『取扱説明書』に示す諸注意を遵守してください。
- 耐塩害、耐重塩害仕様機種の設置、メンテナンスの留意点を126頁に掲載しておりますので、必ずお読みください。

受注生産品について

- 受注生産品は、標準品と外形や質量、能力等が多少異なる場合がありますので、ご検討の際にお問合せください。
- 受注生産品は、ご発注より納品まで標準品より若干の日数を要しますので、ご検討、ご発注の際に納期をご確認ください。

冷媒漏洩について

- 本エアコンに使用しています冷媒R410A（HFC410A）は、それ自身は無毒・不燃性ですが、万一、建物内に漏れた場合、その許容量を越えるような小部屋では、換気装置などによる冷媒漏洩への対策が必要となります。

ベンティエール・換気機器について

- ベンティエールにおける空調連動機とはビル用マルチなどの当社空調機と通信でつながり、互いの運転データーの交換によって同時運転と自動換気モード切換を行うタイプを指します。この中には、専用リモコンを持たない空調連動専用機と、専用リモコンで単独でも設置・運転できる空調連動/単独設置兼用機の2種類があります。この他、空調機と同時発停のみ行える同時運転タイプ（専用リモコンでの単独設置・運転も可）や専用リモコンを持ち単独の設置・運転を目的とした単独設置機（空調機との同時発停も可）もあります。尚、空調連動機には新伝送のDⅢ-NET方式に対応したものと、旧伝送の多重伝送方式に対応したものがあります。それぞれに対応する空調機や集中管理機器、専用リモコンが異なり、機能も多少異なりますので、機種選定や制御システムの計画の際には事前にご相談ください。
- 換気機器は特に強い外風が当ると、運転停止時でも外気が侵入（逆流）する場合があります。
- ベンティエール本体の運転音に比べ、給排気グリルの吹出し音は8～11dBも高くなる場合があります。静かな場所に設置する場合はSA（室内空気）の本機出口側に別売品のフレキシブルダクトを使用されることをおすすめします。特に、500m³/hを超える機種ではその対策をご考慮ください。尚、「防衛施設周辺防音事業用」に適した機種もご用意しておりますのでお問合わせください。
- ベンティエールは基本的に外気温度が－15℃以上となる地域に適しています。（加湿内蔵型は－10℃以上）。こうした本体を指定の設置条件範囲内で設置した上で、屋外側のダクト（外気吸込および排気吹出ダクト）には、結露防止のための断熱処理を必ず行ってください。また、屋内側のダクトも結露の恐れが考えられる場合は断熱処理を行ってください。
- ベンティエールの加湿器は必ず室内給気側に取付けてください。また加湿機能付機種および別売品の加湿器の給水には、市水または上水、もしくはそれに近い水質のものを使用し、給水管系には必ずサービス弁を設けてください。尚、公共の水道管には直接接続することはできません。必ず間にシースタンクを設けてください。
- ベンティエールの加湿機能付機種および別売品の加湿器を冷暖フリービル用マルチVe-upⅡRの冷専系統に接続した室内ユニットに連動させても加湿運転は行いません。
- CO_2センサーを搭載したベンティエールは、センサーの感度を妨げる様な場所に設置しないでください。また、計測法に基づく計測器ではありませんので、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となる有害ガスや不燃ガス等を検知したり、防止する安全装置としては使用しないでください。
- 湿気の多い場所に設置する場合は、必ずアース工事を行ってください。また、感電の恐れがありますので浴室内にスイッチを設けないでください。
- ベンティエールの加湿機能付機種および別売品の加湿器はドレンパンを備えていますので垂直設置はしないでください。また、必ずドレン配管を行ってください。
- ベンティエールに使用するダクト関連部材においては、延焼の恐れがある場所や防火区画に設置する場合は、防火ダンパーおよび防火ダンパー付部材を使用してください。また、防火ダンパーおよび防火ダンパー付部材は、半密閉または全密閉の燃焼器具（給湯器や風呂釜など）の排気用には絶対使用しないでください。
- 防火、防災のため、建築基準法および関連規定により取付けなければならない装置器具は、原則として『（財）日本建築センター』が行う防災性能評定を受け、合格したものを使用しなければなりません。本カタログに掲載の防火関連部材は、製造元の西邦工業（株）殿にて防災性能評定を受け、評定書を取得しています。尚、防火部材は温度ヒューズ72℃溶断品を標準としていますが、温度ヒューズ120℃溶断品もご用意できますのでお問合わせください。
- ダクト関連部材のジャバラは、地域によっては防火上使用できない場合がありますので、所轄の消防署（庁）にご確認ください。
- 給排気関連部材についての寸法および圧力損失特性などについては、「ベンティエール総合カタログ」またはオーケー器材（株）にお問合わせください。

天吊自在形ワンダ風流について

- 本室内ユニットをビル用マルチVe-upシリーズに接続する際にはBEVユニットが必要になります。
- BEVユニットをご使用する場合、通常、手元リモコンによる冷暖切換えはできませんが、冷暖フリーのシステムでBSユニットに接続する場合は、冷暖切換えは可能になります。
- 全ての室内ユニットに天吊自在形ワンダ風流とBEVユニットをご使用される場合、冷暖切換えを可能にするために別途「冷暖切換えリモコン」が必要になります。
- 同一システム内の天吊自在形室内機どうしでのグループ制御は可能ですが、他のタイプの室内ユニットとのグループ制御はできません。
- 集中管理コントローラーなどの制御システムへの接続には別売品のスカイエア接続用アダプターが必要です。
- 本機下流での冷媒配管分岐は行えません。

厨房用エアコンについて

- 室内ユニットの据付け場所は、水蒸気・油・粉などを直接吸い込む恐れのない場所を選んでください。高湿度（約70%以上）にて長時間運転すると、吹出口に露がついて滴下したり、霧吹き、露飛びが発生することがあります。

壁掛形・床置ローボーイ形エアコンについて

- 寝室・客室・仮眠室等の静かな部屋に設置される場合は冷媒通過音が異音として感じられる場合があります。このような設置環境にて設置される場合は冷媒通過音低減の改装がございますので弊社担当窓口までご相談ください。

病院用クリーンエアコンについて

- 高清浄度および床面近傍での空調を重視される場合は、《壁下吸込タイプ》による展開をお願いいたします。
- 新鮮空気取入口より外気等を取入れる場合は、吸込フィルター部を取入れた空気が逆流し、フィルターに付着したホコリが室内に戻る場合がありますので、室内ユニットのファンと連動したダンパー等をダクト経路内に設置し、ファン停止時に外気等の取入れが遮断されるようにしてください。
- 本機を設置した手術室等をガス消毒する際には、エアコン内部に消毒ガスが入ると故障の原因となる場合がありますので、運転を停止させ、吸込・吹出口をビニールシートなどでふさいでください。
- 病院用クリーンエアコンはGMP（医薬品の製造管理および品質管理基準）規格に基づいたDOP試験（もれ試験）には対応しておりません。

★巻末の『安全に関するご注意』も必ずお読みください。